

2005年4月20日

厚生労働大臣 尾辻 秀久 殿

拝啓 貴職におかれましては、厚生労働行政における日頃のご尽力に深く感謝し、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、過日、樋口広芳（本学会長）ならびに黒沢信道（本学会員）・渡辺ユキ・長嶺隆の四氏より問題提起のありました、ウエストナイル熱予防のための蚊の駆除対策に伴う使用薬剤の選択、使用方法の検討にあたって、特に鳥類に対して強度の毒性を現すことが実証されているフェンチオンの使用を見合わせるようにとの要望を、私たち日本鳥学会役員一同は強く支持いたします。重ねて、このことをお願い申し上げます。

日本におきましても、ウエストナイル熱、ヒト免疫不全症候群、牛海綿状脳症など、多様な感染症の新たな伝搬、発病者の増大が危惧され、迅速かつ的確な予防対策が求められていることは申すまでもありません。その対策策定においては、自然環境や生物多様性にも配慮した総合的で長期的、かつ科学的な視点をもった戦略的な対応が、効力の点に鑑みましても今後ますます重要になります。

我が国では、悲惨な水俣病・イタイイタイ病などの公害を経験した教訓から、薬害に対する万全のスクリーニング体制の構築に向け長年努力が重ねられて参りました。特に、人社会だけでなく、生物多様性に正當に配慮することは、長期的には人間自身にとっても不可欠だと言えます。

1962年にレイチェル・カーソン氏が著わした『沈黙の春』は、今も人々に読み継がれております。そうした農薬が一つの大きな原因になって、日本のトキ *Nipponia nippon* が絶滅に追い込まれたことも、私たちの記憶に深く根ざしております。こうした、歴史の教訓と明らかにされている科学的知見に鑑み、フェンチオンをはじめ薬品の使用にあたって、広く科学者の知恵を総合して政策を決定、改善されますよう改めてお願い申し上げます。

薬害への適切な対応がよく理解されている薬品を併用しつつ、衛生環境の総合的な管理を行う社会システムや普及啓蒙活動を早めに準備することによって、ウエストナイル熱にも十分に対応できるものと私たちは考えております。我々、日本鳥学会も、専門的な立場から今後とも政策策定にあたってご助力したい所存です。

敬具

日本鳥学会評議員・鳥類保護委員 一同

2005年4月20日

環境大臣 小池 百合子 殿

拝啓 貴職におかれましては、環境行政における日頃のご尽力に深く感謝し、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、過日、樋口広芳（本学会長）ならびに黒沢信道（本学会員）・渡辺ユキ・長嶺隆の四氏より問題提起のありました、ウエストナイル熱予防のための蚊の駆除対策に伴う使用薬剤の選択、使用方法の検討にあたって、特に鳥類に対して強度の毒性を現すことが実証されているフェンチオンの使用を見合わせるようにとの要望を、私たち日本鳥学会役員一同は強く支持いたします。重ねて、このことをお願い申し上げます。

日本におきましても、ウエストナイル熱、ヒト免疫不全症候群、牛海綿状脳症など、多様な感染症の新たな伝搬、発病者の増大が危惧され、迅速かつ的確な予防対策が求められていることは申すまでもありません。その対策策定においては、自然環境や生物多様性にも配慮した総合的で長期的、かつ科学的な視点をもった戦略的な対応が、効力の点に鑑みましても今後ますます重要になります。

我が国では、悲惨な水俣病・イタイイタイ病などの公害を経験した教訓から、薬害に対する万全のスクリーニング体制の構築に向け長年努力が重ねられて参りました。特に、人社会だけでなく、生物多様性に正當に配慮することは、長期的には人間自身にとっても不可欠だと言えます。

1962年にレイチェル・カーソン氏が著わした『沈黙の春』は、今も人々に読み継がれております。そうした農薬が一つの大きな原因になって、日本のトキ *Nipponia nippon* が絶滅に追い込まれたことも、私たちの記憶に深く根ざしております。こうした、歴史の教訓と明らかにされている科学的知見に鑑み、フェンチオンをはじめ薬品の使用にあたって、広く科学者の知恵を総合して政策を決定、改善されますよう改めてお願い申し上げます。

薬害への適切な対応がよく理解されている薬品を併用しつつ、衛生環境の総合的な管理を行う社会システムや普及啓蒙活動を早めに準備することによって、ウエストナイル熱にも十分に対応できるものと私たちは考えております。我々、日本鳥学会も、専門的な立場から今後とも政策策定にあたってご助力したい所存です。

敬具

日本鳥学会評議員・鳥類保護委員 一同